

令和8年9月15日

都内各中学校長 様
東京都中学校理科教育研究会会員 様

東京都中学校理科教育研究会
会 長 本 杉 貴 保
東京都中学校理科教育研究会
会 長 中 嶋 昭 江
研究部長 松 木 千 明

第72回 東京都中学校生徒理科研究発表会の応募について

日頃より、東京都中学校理科教育研究会の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、毎年開催いたしております東京都中学校生徒理科研究発表会は、72回目を迎えます。今年度は、下記のように開催することになりました。

つきましては、発表生徒の推薦並びに関係者の参加につき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 趣 旨 生徒による理科研究を奨励するため、都内の代表生徒による発表会を開催する。
- 2 日 時 令和9年1月17日（日）13時00分～16時40分（受付開始12時40分）
- 3 会 場 北区立十条富士見中学校
〒114-0033 北区十条台1-9-33
交通：JR 埼京線「十条駅」下車南口より徒歩約7分
- 4 内 容 ブースでのスライドセッション形式での発表を中心に行う。
- 5 表 彰
 - (1) 表彰の内容
 - 日本化学会（後援）、読売新聞社（後援）、東京都中学校理科教育研究会からの賞状を各校（団体等）に1枚、読売新聞社からのメダルを発表者及び共同研究者（生徒）全員に授与します。
 - 審査により、発表校（団体等）の中から特に優秀な研究を行ったと認められる3校（団体等）に、「優秀賞」として賞状を授与します。
 - (2) 審査基準

「優秀賞」は、当日の発表内容を次の基準により審査し、決定します。

 - ① 発表内容が筋道立てて整理されている。
 - ② 発表内容に中学生らしい創造力や発想が生かされている。
 - ③ 発表方法が工夫されていて分かりやすい。
 - ④ 研究に携わった中学生の熱意と努力が優れている。

6 応募書類

- (1) 申込書 …指定の URL より連絡先などの情報を教員が入力。
- (2) 応募票 …指定の書式（別紙）。研究の概要の紹介資料。生徒が作成。
- (3) 研究報告書…A4 版、片面刷り、1 枚分。書式は自由。生徒が作成。

7 応募期間

令和8年10月5日（月）～11月13日（金）

※各地区での選考があり、代表校（団体など）が**11月13日**以降に決定する等の事情がある場合には、各地区の選考責任者が、事前に下記担当者までお知らせください。

8 応募方法

- (1) 申込は次の URL あるいは右上の QR コードから必要事項を入力してください。

URL（ <https://forms.gle/Zc9JRSLCAsRDHqu89> ）

- (2) 応募票・研究報告書は、PDF で応募フォームに添付してください。

【担当者】 足立区立花畑北中学校 主任教諭 藤本 博之
電話 03-3859-5031 FAX 03-3859-5063



9 留意点

- (1) 応募票のデータは、必要に応じて、右図 QR コードを印刷して、手書きで作成しても構いません。
- (2) 応募校（団体等）が多数の場合には、都中理研究部が審査を行い、発表校 12 校（団体等）を決定いたします。発表校 12 校（団体等）の決定は 11 月 14 日（金）までに行い、応募のあった各校（団体等）にお知らせをいたします。
- (3) 東京都生徒理科研究発表会についての情報で今後お知らせがある場合には都中理ホームページ内または申込時に入力したアドレスにてお知らせをします。



10 その他

- (1) 12月1日（火）に発表校（団体等）の打合せを予定しています。発表に関する詳細はこの打合せの際にご説明します。ご参加のほど、よろしくお願いします。
- (2) 問い合わせ先
【担当者】 足立区立花畑北中学校 主任教諭 藤本 博之
電話 03-3859-5031 FAX 03-3859-5063

11 参考資料（申込書・応募票）

(1) 申込時に入力する内容

- ・地区名・学校名・学校所在地・電話番号・FAX 番号
- ・連絡先の電子メールアドレス（添付ファイルが可能なアドレス）
- ・発表題目・発表生徒名・発表生徒名フリガナ・共同研究者（生徒）人数
- ・共同研究者氏名・指導の先生・引率の先生等
- ・応募票（PDF）・研究報告書（PDF）

(別紙)

第72回 東京都中学校生徒理科研究発表会 応募票

作成日	地区名	学校名
研究テーマ		
(フリガナ) 発表生徒名		

(1) 動機や背景・目的 (なぜこの研究を行ったのか)

(2) 研究方法 (なぜその方法を採用したのか)

(3) 研究結果 (どのような結果になったのか)

(4) まとめ・結論 (結果から言えること・わかったこと)

(5) 展望 (結果から、この研究はどのように使えるか。どのような場面に応用できそうか)
